

学部・学科の教育研究上の目的及び基本方針

理 学 部

教育研究上の目的

本学部は、学術の基礎と一般常識を身に付け、理学における専門的な知識を修得する道を通じて個を確立し、社会の中核として活躍できる人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学部の教育研究上の目的等を踏まえ、理学部では科学的思考能力を身につけ、社会で活躍できる人材の育成を最終的な目標としています。

エネルギー問題や環境問題等の人類の将来を左右する多くの大問題を抱えた21世紀の知識情報社会の中で、理学部の果たす役割は、基礎研究の促進と科学的思考能力を身につけた人材を社会に送り出すことです。科学的思考能力とは、教養に裏づけられた柔軟な科学的思考能力であり、単なる専門知識の寄せ集めではありません。この能力は今の不安定な社会を生き抜く能力でもあり、常に自ら学んで成長できる能力でもあります。また、現今のグローバルな時代では、このような科学的思考能力に加えて、自ら発信する能力と他者の意見に十分耳を傾ける能力が求められています。

本学部では、全教員が協力して系統的かつ効率的な4年間の教育課程を通じて、社会の発展に貢献し、社会の問題を解決するのに必要な能力を身につけさせることを教育目標と定めます。

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

本学部の教育課程において、卒業要件単位を取得した者は、次に掲げる知識、教養、能力を身につけていると判断し、学士(理学)の学位が授与されます。

1. コミュニケーション能力、知識情報社会に対応できる能力、伝統と社会・文化に対する深い理解力をもたらす外国語を含めた一般教養
2. 理学の基礎に関わる幅広い素養
3. 理学部各学科の学問領域の最前線の理解を持続的に可能とする基礎となる専門的知識
4. 卒業後も成長して、職業人として社会に貢献できる能力

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

本学部では、社会の中核として活躍する人材を育成するため、以下に示した方針で教育課程を編成しています。

1. 入学後の第1 Semesterでは、全学共通の少人数の対面教育である「FYS(ファースト・イヤー・セミナー)」を通じて大学生の心構えと大学での学び方、ならびに社会性を身につけます。
2. 1, 2年次で、コミュニケーション能力を身につけるとともに伝統と社会・文化の理解に欠かせない語学や教養科目を学びます。
3. 2, 3年次で基礎的専門科目を学びます。生物科学科と数理・物理学科では履修コースに分かれて興味に沿った学びを行います。
4. 4年次では研究室にて理学の特定課題について卒業研究を行います。